

# 中込地区新保育所の基本設計(案)について

## 1 基本事項

### ○ 施設の種類

老朽化した中込第一保育園、中込第二保育園を統合し、幼稚園の無い中込地区において幼児教育の場を提供すると共に、中込地区のまちづくりの一環として、『認定こども園』の整備を行う。

※ 認定こども園とは、幼稚園と保育所の機能や特徴を併せ持つ施設であり、保育要件の有無に関わらず児童を受入れ、教育・保育を行ったり、未就園の子育て世帯を対象に、子育て不安に対応した相談や親子のつどいの場の提供等を行う施設

### ○ 供用開始予定

令和8年4月開園（令和5～6年度：基本・実施設計業務 令和6～7年度：建設工事）

### ○ 概算工事費

約11.4億円

## 2 建設地概要

・ 用途地域	近隣商業地域	・ 浸水想定区域(滑津川)	
・ 建ぺい率	80%	計画規模降雨(100年確率)	0.5m未満
・ 容積率	200%	想定最大規模降雨(1000年確率)	0.5m以上3.0m未満
・ 防火地域	準防火地域		

予定建物は、準防火地域内で延べ面積が1,500㎡を超えるため、耐火建築物とする必要があることや、浸水想定区域に位置することも考慮し、本施設は鉄骨造2階建てで計画します。内装については木質化を図り、温かみのある仕上げとします。

## 3 計画概要

・ 敷地面積	約6,500㎡
・ 延べ面積	約1,900㎡
・ 構造	鉄骨造
・ 階数	2階建て
・ 駐車台数	約60台



木質化の例(城山保育園)

## 4 「佐久市子ども環境形成ガイドライン」を踏まえた施設整備

### (1) 「あそび」のための環境づくり

#### ① 魅力ある空間の整備

・ 子どもが魅力的に感じる『別所』『高所』『閉所』の空間づくりのため、遊戯室を2階に配置することで生まれる階段やバルコニーなどの平屋建てには無い特徴を生かした整備を行う。

#### ② 多目的室の整備

・ 認定こども園として必須である、子育てに関する相談や支援を行う場所として多目的室を整備し、子育てに関する相談や地域の親子の相互交流事業を行う。

なお、上記の事業以外では、早朝・延長保育室としての利用や配慮が必要な児童のクールダウンの場所として利用する。

#### ③ 園庭の整備

・ 屋外のあそび空間である園庭が、各年代の子どもにとって安心安全で、居心地の良い空間になるよう、未満児クラス専用の園庭を設ける。また、園庭は隣接する佐太夫町公園に開いた配置とし、身近な自然を感じられるようにする。

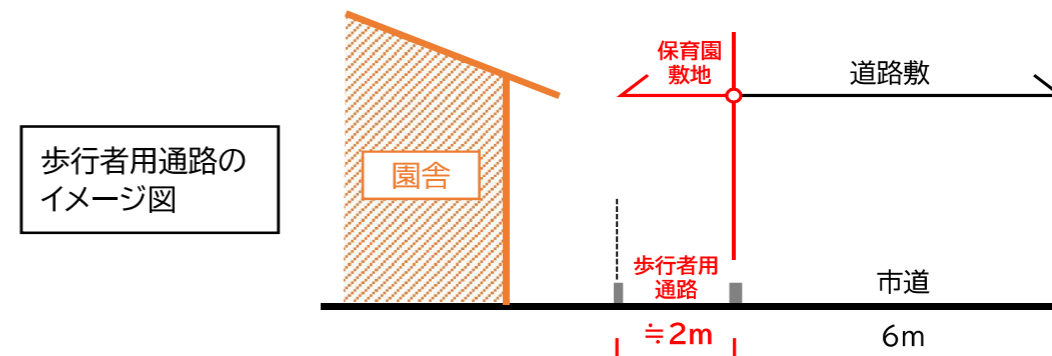
### (2) より良いまちの形成につながる環境づくり

#### ① 災害時等の避難場所として

・ 災害時等における園児の安心・安全確保のため、遊戯室を2階に配置することで垂直避難が可能となり、浸水想定区域においても、安心・安全な施設とする。

#### ② 敷地外周部に歩行者用通路を設ける

・ 園児への安全対策として、外周部に幅2m程度の歩行者用通路を設け、お散歩等でも有効に利用する。



#### ③ 市営駐輪場を移設する

・ 市営駐輪場の利便性の向上を図るため、敷地南側に市営駐輪場を移設し、既存の駐輪場については、新保育所の職員駐車場とする。

## 5 定員について

・ 統合する2園の過去3年間の入園者数合計の平均160人(下表①参照)を定員とする。  
 ・ 認定こども園とすることにより、新たに受け入れる1号認定の児童は、市内の私立幼稚園への経営圧迫とならないよう、各年齢につき5人とし、合計15人とする。

① 過去3年間の入園者数(2号・3号認定のみ)

室名	年齢	R3.3		R4.3		R5.3	
		中込第一	中込第二	中込第一	中込第二	中込第一	中込第二
乳児室	0歳	6	9	3	6	3	7
ほふく室	1歳	6	11	7	15	6	11
保育室	2歳	8	13	11	15	9	18
〃	3歳	12	29	10	19	13	20
〃	4歳	13	20	13	29	11	19
〃	5歳	11	20	15	20	12	28
合計		158		163		157	

平均と同程度とする  
 1号認定と合わせて同程度とする  
 合計の平均人数確保

② 新施設の定員

定員	うち1号認定(新規受入)	うち2号・3号認定
10	-	10
20	-	20
25	-	25
35	5	30
35	5	30
35	5	30
160	15	145

※ 1号認定:教育標準時間認定(保育を必要とする事由に該当しない、満3歳以上の小学校就学前の子ども)  
 2号・3号認定:保育認定を受けた満3歳以上又は満3歳未満の子ども

【参考:各年度の出生者数】

	H30	R1	R2	R3	R4	H30-R4年度比
出生者数(市全体)	689	747	732	685	648	▲41
出生者数(中込地区)	58	57	67	60	72	+14

# 中込地区新保育所建設地における配置計画の検討について

## 【敷地及び園舎の配置について】

**【敷地の現況】**

- ・本敷地は土地区画整理事業が実施された、高低差の少ない平坦な土地である。
- ・敷地は幅員6mの道路に面しているため利便性が高いが、駅、住宅、病院等が近接しており、自動車や自転車の通行が多いため、交通の流れが複雑になっている。
- ・駅前ではあるが、佐太夫町公園が隣接しており、自然の緑が感じられる場所にある。

**【市内公立保育所の配置】**

- ・市内公立保育所の園舎は全て平屋建てで、L型またはコの字型に諸室が配置され、標準的な配置は下記のとおりである。

調理室	管理諸室	保育室 (3~5歳)	遊戯室
保育室 (0~2歳)	園庭		プール

敷地内に配置される主な施設は下記のとおり

① 園舎 ② 園庭 ③ プール ④ 駐車場

## 【配置計画の考え方について】

- ① 市道31-243号線により、敷地が南北に分かれるが、区画整理事業が実施された土地であり、現存道路は生活道路として地域に定着しているため、**現区画で配置を検討する。**
- ② 敷地(A)を駐車場、敷地(B)を園舎及び園庭用地と分けて計画する。
- ③ 園児を始めとした歩行者等の安全対策として、**敷地外周部に幅2m程度の歩行者用通路を設ける。**(通路に要する面積は約580㎡)
- ④ **隣接する佐太夫町公園に開かれた配置とする。**(既存遊具リニューアル予定)
- ⑤ 3歳未満児クラスと3歳以上児クラスでは、生活リズムが異なるため、**保育エリアはそれぞれに配慮した位置に配置する。**(市内公立保育所の配置参照)
- ⑥ 敷地東側の市営駐輪場の利便性を高めるため、**駅に近い敷地南側に駐輪場を配置し、既存駐輪場は職員用駐車場としての利用を検討する。**

## 【配置計画について】

※地元区民や保護者へ実施した施設整備に関するアンケートから、要望が多かった事項を元に評価項目を設定し、A~C案の配置案を評価する。

### 【A案】

日当たり・環境に配慮された配置か	◎	死角が少なく安全性の高い配置か	◎
子どもが活動しやすい園庭か	◎	公園に開かれた配置か	◎

### 【B案】

日当たり・環境に配慮された配置か	○	死角が少なく安全性の高い配置か	◎
子どもが活動しやすい園庭か	◎	公園に開かれた配置か	△

### 【C案】

日当たり・環境に配慮された配置か	△	死角が少なく安全性の高い配置か	◎
子どもが活動しやすい園庭か	○	公園に開かれた配置か	◎

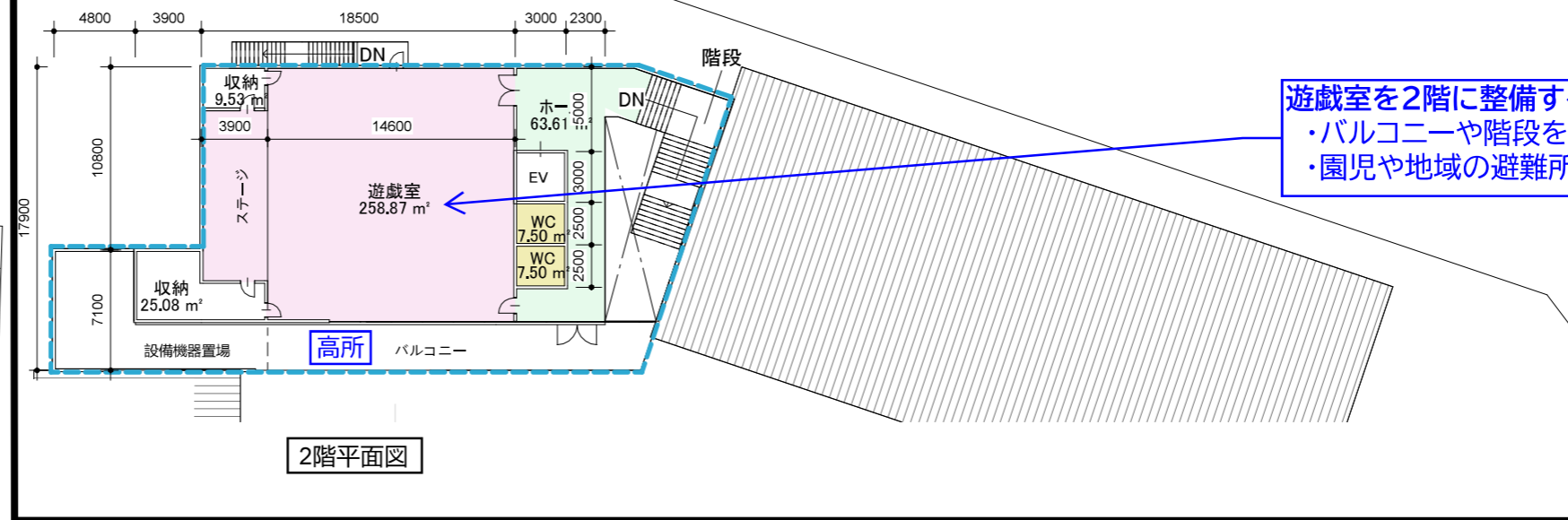
総合的に評価の高いA案を元に具体的なレイアウトを検討する

公園と園庭の間に園舎があり、公園に開かれた配置となっていない

北側に開かれているため日当たりが悪い

平面計画(案)

本図は基本設計時点のものであり、  
実施設計において変更が生じる場合があります



遊戯室を2階に整備する  
・バルコニーや階段を活かし、魅力ある空間をつくる  
・園児や地域の避難所として、垂直避難が可能になる

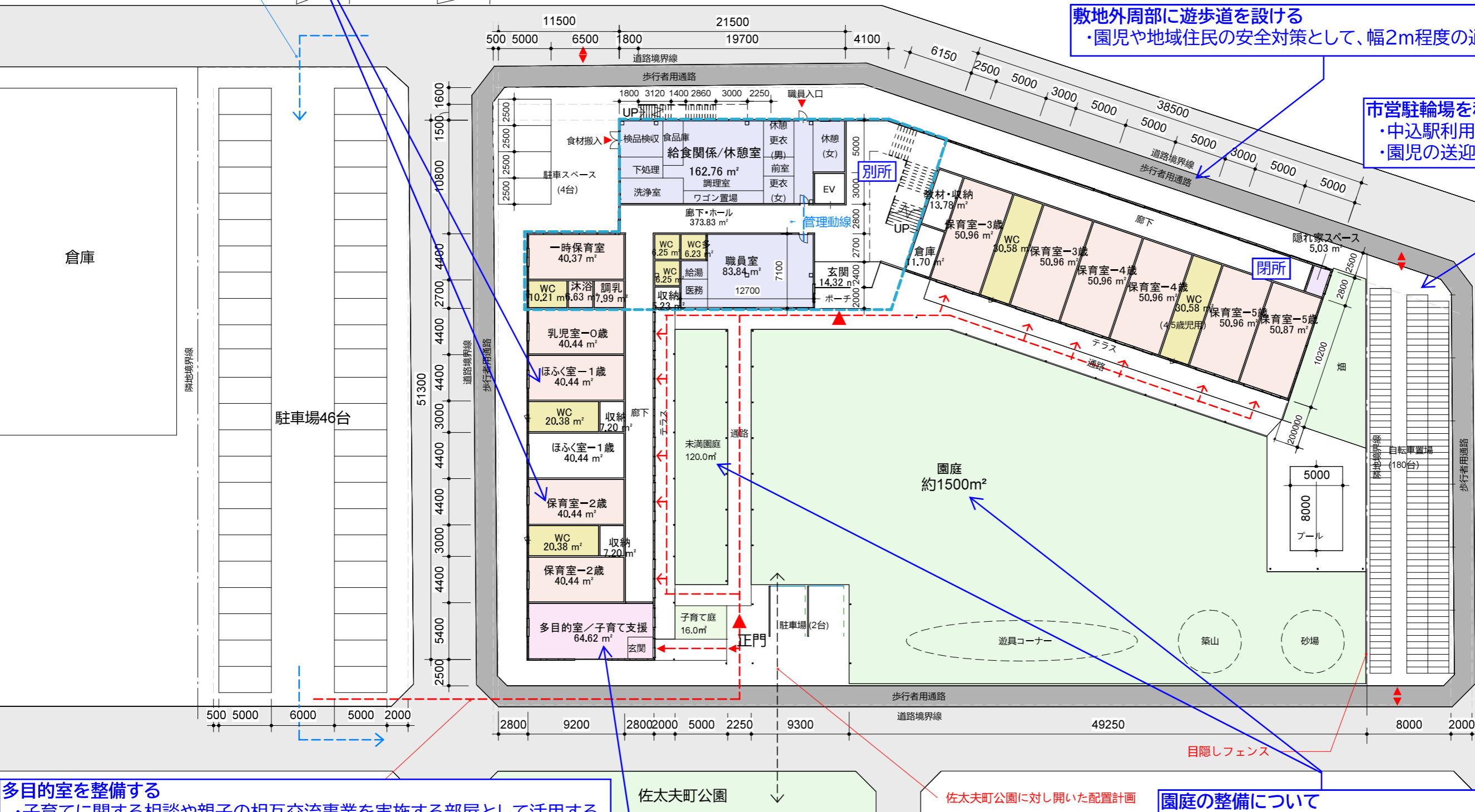
1歳・2歳児室を2室整備する  
・落ち着いた保育環境の整備

自動車動線 (一方通行)



敷地外周部に遊歩道を設ける  
・園児や地域住民の安全対策として、幅2m程度の通路を設ける

市営駐輪場を移設する  
・中込駅利用者の利便性の向上を図る  
・園児の送迎車両と自転車の動線分離を図る



多目的室を整備する  
・子育てに関する相談や親子の相互交流事業を実施する部屋として活用する  
・早朝延長保育や児童のクールダウンの部屋として活用する

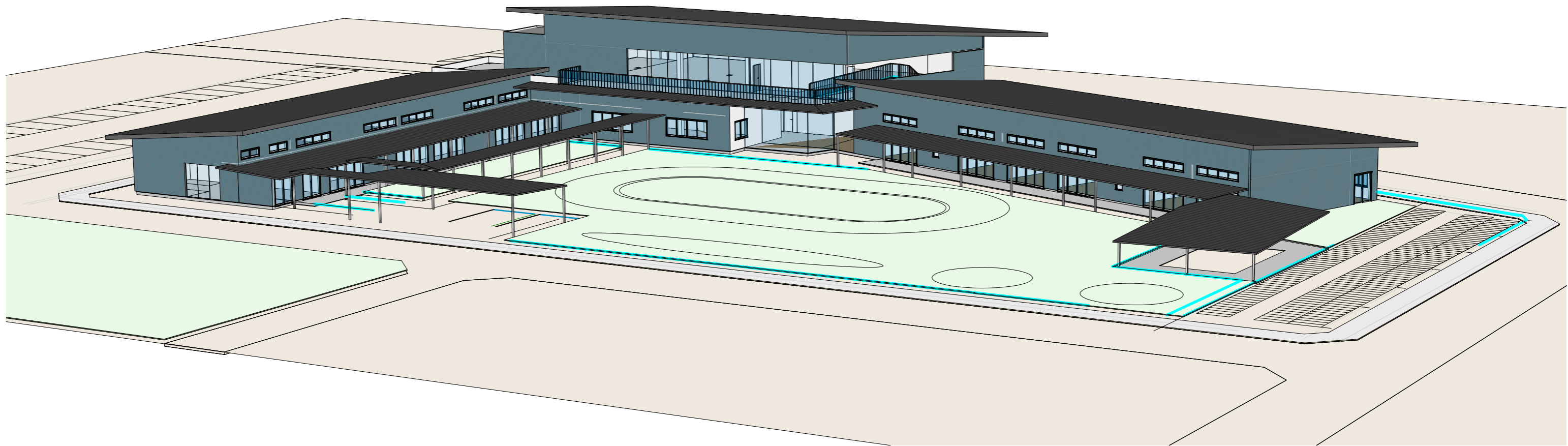
園庭の整備について  
・広い園庭を整備する  
・未満児クラス専用の園庭を整備する

1階床面積	1454m <sup>2</sup>
2階床面積	378m <sup>2</sup>
合計床面積	1832 m <sup>2</sup>



# 鳥瞰図(案)

本図は基本設計時点のものであり、  
実施設計において変更が生じる場合があります



鳥瞰図